



# ネットワーク

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けする「コーナー」です。

皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：  
市内永田町一―〇〇 市広報広聴課  
☎二―〇三三 内線二八三三  
締め切りは毎月十五日です。



## 「ふるさとの昔話」を分けてください

このコーナーは、「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、元市政モニターの渋谷国男さん(三ツ沢)からいただいた「ふるさとの昔話の購読」についてです。(「市長への手紙」の用紙は、各公民館などにあります)

### 〈市長への手紙〉

昨年、広報ふじに掲載中のふるさとの昔話が冊子として発刊され、拝読させていただきました。身近な昔話がかつていて、よいものができたと感じています。

聞けば、この本を限定で五千冊つくったようですが、一部の公共の場所や個人にしか行き渡



渋谷国男さん

### 〈市長の答え〉

「ふるさとの昔話」をお読みいただき、ありがとうございます。この本は、広報ふじに掲載中のふるさとの昔話をまとめたもので、五千冊をつくり、市内の主な公共機関、小・中学校、幼稚園などに

### 広報広聴課で

### お分けします

らなかつたようです。私の周りでもほしいという人がありますので、有料で支給してくれるわけにはいかないものでしょうか。また、それが難しいのであれば、どこへ行けば見られるのか教えてください。



冊子はB6判、232ページです

配布しました。

希望される市民の皆さんにも広報広聴課へ来てくだされば、現在も一人に一冊無料でお分けしています。お手数ですがお越しく

ださい。もちろん図書館や公民館にも配布してありますので、ごらんになれると思います。

また、ふるさとの昔話については、将来いつの日か第二号が発行できるようシリーズを続けたいと思います。まだ掲載されていない昔話があれば、ぜひ御連絡をください。

3月9日、中央図書館で「ストーリーテリングいっぱい」の会を開く自主研究会の会長

あし ざわ はる み  
芦 沢 晴 己 さん

(四丁河原下)



絵本のお話をそのまま覚え、その場の雰囲気に合わせて語り聞かせるストーリーテリング。あまり聞きなれない言葉ですが、児童奉仕を目的として、子供たちに夢と創造力を与える活動です。

芦沢さんがストーリーテリングに出会ったのは、岩松公民館で文庫活動を行っていた昭和六十二年。

紙芝居や映画と違い視覚的なものは何もないにもかかわらず、強烈な映像が頭に浮かびました。そして、話し手と聞き手が一体となった緊張感は今までに体験したことのないものでした。

それから、中央図書館の勧めもあって、市内の文庫活動を行っている皆さんで自主研究会を結成、毎月一回活動を行ってきました。会員は現在十九人です。

「食事の支度中やお風呂、トイレの中でもポソポソ言って練習します。情報過多な現代に聞き上手な子を育てたい」と笑います。あなたもストーリーテリングしてみませんか。

